

ワールドカップ第2戦（ミュンヘン）についてのマックスのレポート

2009年6月21日

Diethelm Maxrath

（このレポートはマックスから朝倉（競技力向上委員長）に宛てた第1報メールを訳したものです。従って、今回のワールドカップの準備段階からの詳細レポートではありませんのでご了承ください）

多分、皆さんはFISAの公式サイト、「World Rowing. Com」で結果をご覧になっていると思いますが、私としては、極めて良好な滑り出しだったと考えています。選手、コーチ全員が得るところがあり、結果自身もポズナンの世界選手権への1行程として「OK」でした。LM4-は、決勝で経験の少なさを出示してしまいました。私としては、3位ないし4位は取れたと考えています。武田は決勝でまずいレースをしてしまいました。国内にライバルがない彼としては、もっと今回のような世界レベルのレースで戦う必要があります。LM2-は、目標を十分達成し、さらに成長しています。岩本も継続して良くなっています。坂東は、国際レースとはどのようなものかということを感じそれを糧としています。レースが終わった今晚のチームの雰囲気はとても前向きで、皆が多くを学びより強くなることに熱意を持っています。

6月27日、28日はアムステルダムの国際レースを、7月10日からはルツェルンでのワールドカップ第3戦を戦います。皆さんのご支援、ご声援を引き続きよろしくお願い申し上げます。

（訳文文責 朝倉直樹）